

## 指導の手引き 1 食べ物②

<b>omelet</b>	語の最初にアクセント。	<b>オムレツ</b>
英語らしい音を出すコツ	最初の o は「ア」と言うつもりで口を開け「オ」と発音するとちょうどよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。a cheese omelet. 数えるときや好き嫌いを伝えるときには I don't like plain omelet.	
文化的な情報、応用表現など	plain omelet は具のついていないもので「プレイン」と発音。和風のだし巻き卵も、omelet と呼んでよい。	

<b>curry and rice</b>	curry と rice に同じアクセントを。	<b>カレーライス</b>
英語らしい音を出すコツ	curry は「カリ」。andは軽く「カリ・ン・ライス」のように発音する。	
文法的な注意事項	curry and rice でひとつの料理名、数えない名詞として扱う。Do you like curry and rice? 「カレーライスは好きですか？」	
文化的な情報、応用表現など	curry だけでも料理名として使う。I don't like Thai curry very much. It's too hot for me. 「タイカレーは私には辛すぎて、あまり好きではない」	

<b>beefsteak</b>	語の最初にアクセント。	<b>ステーキ</b>
英語らしい音を出すコツ	「ステーキ」ではなく「ステーキ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	steak はもともと牛などの半身の後ろ部分を厚切りにしたものを指す。Steak だけで beefsteak のことだとわかる。	

<b>grilled fish</b>		<b>焼き魚</b>
英語らしい音を出すコツ	grilled の ll と ed をひとかたまりのように発音し、grilled fish を 2 拍で言うと英語らしくなる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英語圏の料理では、まるごと焼いた魚(いわゆる「尾頭付」)を食卓に出すことはあまりしない。	

<b>spaghetti</b>	「ゲ」にアクセント。	<b>スパゲッティ</b>
英語らしい音を出すコツ	最初の s は軽く添え、「sバゲティ」や「sバゲリ」のように言う。「ゲティ」よりも「ゲリ」と聞こえてよい。gheのあとに促音(っ)を入れないこと。	
文法的な注意事項	普通は複数形にしない。I like a spaghetti. では「1本だけが好き」になる。I like spaghetti. でよい。	
文化的な情報、応用表現など	語源はイタリア語の「ひも」。ナポリタンというメニューは日本での発明。	

<b>sandwich</b>	語の最初「セア」にアクセント。	<b>サンドイッチ</b>
英語らしい音を出すコツ	「サンド・イッチ」ではな「セアン-d-ウィッチ」のように、d を軽く、w はしっかり発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	「ハムサンド」の「サンド」のように短くしては英語でなくなる。sand は「砂」の意味なので a ham sandwich が正しい。	

<b>soup</b>		<b>スープ</b>
英語らしい音を出すコツ	しっかり口を丸めて u: の音を発音すること。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英語では soup は食べる(eat)もの。drink soup とは言わない。	

<b>salad</b>	語の最初「セア」にアクセント。	<b>サラダ</b>
英語らしい音を出すコツ	「セアラd」と発音する。語尾の d は上の歯の裏に舌尖をつけて止めると「ダ」にならない。	
文法的な注意事項	数えられない名詞として扱う。I like salad very much. 「サラダ大好き」 I eat salad every day. 「毎日サラダを食べる」	
文化的な情報、応用表現など	料理名としては数えられる名詞。I'd like a green salad. (レストランでの注文)。料理に添えた生野菜を指す場合には、数えられない名詞として扱う。Do you want more salad? 「サラダ、もっといる？」	